

東南置賜地区の県立高校再編整備計画（骨子案）に係る意見募集の結果について

1 意見の募集期間 平成31年3月15日（金）から令和元年6月14日（金）まで

2 ご意見の件数 19件

3 寄せられた御意見の概要及び教育委員会の考え方

番号	分類	意見の概要	県教育委員会の考え方
1	再編整備の在り方に係る意見	○ 人口減少が著しく、少子化が加速している現状を踏まえれば、高校の再編統合は仕方ない。	○ 中学校卒業生数の減少に対応して、県立高校の入学定員を適切に定める必要がありますが、現在の学校数を維持したまま、各高校の入学定員を更に削減した場合、各校の規模がより縮小し、高校として望ましい教育環境を維持する上で様々な課題が生じると考えております。
2	再編整備の在り方に係る意見	○ 教育行政の枠だけで考えず、地域の人口規模やまちのランドデザインを考慮しながら、各高校がどんな役割を担うべきかの検討が必要である。	○ 少子化の進行という現実を見据え、東南置賜地区の高校教育の質の維持・向上、これからの時代を切り拓いていくことのできる人材の育成、高校に対する地域の期待など、様々な角度から検討し、この度、「東南置賜地区の県立高校再編整備計画」を策定いたしました。
3	再編整備の在り方に係る意見	○ 東南置賜地区だけでなく、西置賜地区も含めた再編が必要ではないか。	○ 県立高校の再編整備については、原則として生徒が自宅から通学できる範囲の中で様々なタイプの学校を選択できるよう配置していくことが必要であると考えており、生徒の通学範囲や通学の実態なども踏まえながら、県内を8ブロックに分けて検討し、実施しております。 ○ 東南置賜地区の中学生の大部分が地区内の高校に進学することに加え、西置賜地区から一定数入学する生徒がいる現状を踏まえ、今回の再編整備計画については、置賜地区全体を見渡しながらか検討し、策定しております。
4	中期的再編に係る意見	○ リーダーの育成や科学技術分野に革新をもたらす力の養成の	○ 平成31年3月の、A案（米沢東高校と米沢商業高校の統合）、B案（米沢工業高校と米沢

		ためには、世界で活躍する人材を輩出している大学への進学が必要である。進学者の増加のため、進学が中心となる普通科の学級数を維持すべきである。		
5	中期的再編に係る意見	○ 出願のとき、第一・二志望として併願する場合、進学中心の普通科と就職中心の商業科の併願は難しいため、就職中心の専門学科高校同士の統合とすべきである。	商業高校の統合)を併記した「骨子案」の公表後、地域説明会、意見募集、意見聴取を実施し、地域の皆様から幅広く御意見をいただきました。A案については、普通科と商業科を併置することにより、より幅広い進路を実現する高校が配置できるとの声があったものの、工業高校と商業高校が統合することで明確な特色をもつ産業高校となること、地元の産業人材の育成や産業の多様化に対応する教育が可能となること、既存の施設を有効に活用できることなどからB案に賛成する意見を多くいただきました。このような意見を参考にしながら、ソフト、ハード両面から検討を重ね、米沢工業高校と米沢商業高校を統合する計画といたしました。なお、県教育委員会が平成29年5月に実施した「高校教育に関する意識調査」では、東南置賜地区の中学3年生の約6割の生徒が普通科を第1志望としており、各学科の入学定員の設定に当たっては、教育を受ける立場にある中学生の希望状況を踏まえる必要があると考え、普通科の学級数を維持することといたしました。	
6	中期的再編に係る意見	○ 米沢工業高校と米沢商業高校を統合してしまうと、各高校の特色が失われてしまうのではないかと。		
7	中期的再編に係る意見	○ 米沢東高校と米沢商業高校の統合により、大学から専門学校まで幅広い進学に対応する学校となるのではないかと。		
8	中期的再編に係る意見	○ 他校と統合となっても、米沢工業高校の校名を残し同窓会を存続して欲しい。		
9	中期的再編に係る意見	○ 「ものづくり」「製造業」の盛んな米沢市の地域振興のため、米沢工業高校は大きな役割を果たしてきた。今後も米沢工業高校の伝統を継承して欲しい。		
10	中期的再編に係る意見	○ 米沢工業高校と米沢商業高校が統合となった際には、一般入試で大学に合格できる学力を身に付けることもできるカリキュラムにして欲しい。		
11	長期的再編に係る意見	○ 米沢興譲館高校は、他校と統合せず単独校で存続して欲しい。		
12	長期的再編	○ 歴史と伝統がある米沢興譲館		
				○ 米沢産業高校(仮称)については、令和2年度に、教育基本計画策定委員会を設置し、教育理念、教育課程の基本方針・特色、校舎整備計画等について検討し、その後、策定された教育基本計画に基づき、教育課程の編成や校舎の改修等、令和7年度の開校、令和8年度の夜間定時制の昼間への移行に向けた具体的な開校準備を進めてまいります。
				○ 開校準備にあたっては、米沢工業高校と米沢商業高校の2校がこれまで培ってきた伝統や特色などに十分配慮しながら、検討を進めてまいります。
			○ 更なる少子化の進行に対応するため、高校の教育環境の充実・向上といった視点から、広域にわたる再編整備が必要となると考えております。	

	に係る意見	の校名は、他校と統合しても残して欲しい。	○ 令和8年度以降の令和17年度を目途とする米沢市内の普通科高校の在り方と米沢市外の3つの高校の在り方については、令和7年度から令和8年度にかけて再度検討いたします。
13	長期的再編に係る意見	○ 将来的に、米沢市内の高校が全て新設高校となれば、地域文化や伝統を引き継ぐことが難しくなる。	
14	長期的再編に係る意見	○ 長期的に3校配置となるよりも、高校の選択肢が多くなる4校配置が望ましい。	
15	長期的再編に係る意見	○ 将来的に、農業人材の育成やバイオテクノロジー分野の研究を目的とした高校を、米沢市外に設置すべきである。	
16	中高一貫教育校の設置に係る意見	○ 米沢東高校を単独校として存続するだけでなく、県立中学校を併設した併設型中高一貫教育校として開校し、米沢興譲館高校と共に世界に羽ばたく人材を育成して欲しい。	○ 「山形県中高一貫教育校設置構想（平成21年6月策定）」では、内陸地区と庄内地区に併設型中高一貫教育校のモデル校を設置し、実践を検証した上で、将来的には県内4学区への設置を検討するとしています。内陸地区については、平成28年4月に東桜学館中学校・高等学校が開校し、庄内地区については、令和6年度に庄内中高一貫校（仮称）の開校を予定しております。 南学区への併設型中高一貫教育校の設置については、置賜地域全体の声を聞きながら検討いたします。
17	その他の意見	○ 県立高校の再編に伴い、インクルーシブ教育や切れ目ない支援の実現のため、県立高校においても特別支援教育を充実して欲しい。	○ 障がいのある子どもが、適切な指導・支援を受けて学び、達成感・満足感をもつことができるよう、今後も、通級による指導の導入等県立高校における特別支援教育の推進に努めてまいります。
18	その他の意見	○ 米沢興譲館高校の学力レベルを維持して欲しい。	○ 米沢興譲館高校は、文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受け、先進的な理数教育を実施しております。また、各教科で学んだ基礎的な知識・技能を活用し、自ら見つけた課題の解決に向けて主体的・協働的に取り組む「探究型学習」に重点を置く探究科を平成30年度に設置いたしました。今後も、新学習指導要領の趣旨

			も十分踏まえながら、生徒の将来の目的意識を高め、生徒個々の進路希望達成できる教育活動を推進してまいります。
19	その他の意見	○ 昼間定時制が設置される現在の米沢商業高校において、霞城学園高校通信制の面接指導（スクーリング）を受けることを可能として欲しい。	○ 昼間定時制の教育内容については、今後、開校準備組織で検討することになります。なお、霞城学園高校通信制では、多様な学習ニーズに対応するため、県内5支部で支部共同学習会を開催しております。置賜地区においては、米沢、長井で支部学習会を行っており、2週間に1回程度、平日の夜間に面接指導を受けることができるなどの対応もっておりますので、このような制度も活用していただければと考えております。

#### 4 問い合わせ先

山形県教育庁高校教育課高校改革推進室 電話 023-630-2493

#### <公開資料>

東南置賜地区の県立高校再編整備計画

※ 資料の閲覧方法（次の方法で閲覧できます。）

（1）県のホームページ

（2）行政情報センターまたは各総合支庁総合案内窓口